

# 広報いしかわ

Ishikawa Prefecture



北陸放送 【ほっと石川】  
7月3日(土) PM5:15~5:30  
「石川県産業革新戦略2010」

石川テレビ 【ウィークリーいしかわ】  
毎週日曜 PM5:25~5:30

テレビ金沢 【石川まるごと探検隊】  
7月4日(日) AM7:30~8:00  
「輪島港マリンタウンプロジェクト」

北陸朝日 【石川ほっとニュース】  
毎週土曜 PM5:55~6:00



北陸放送 【県からのお知らせ】  
毎週火・金曜 PM2:30頃(3分間)

エフエム石川 【素敵にモーニング】  
毎週日曜 AM9:55~10:00

ホームページ [www.pref.ishikawa.jp](http://www.pref.ishikawa.jp) E-mail [e130500b@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:e130500b@pref.ishikawa.lg.jp) 行政相談 ☎076(225)1100

## 「生活先進県いしかわ」の実現に向け、大きく一歩

北陸新幹線の金沢開業効果を県内全域に波及させるため、あらゆる分野で「先手」

### 県6月補正予算案

一般会計 計上額 **308億1,397万円**  
補正後累計 **5,063億7,697万円**  
(対前年度当初比0.8%増)

今回の平成22年度6月補正予算案については、緊急経済・雇用対策をはじめ、県民生活の安全安心、北陸新幹線金沢開業の効果を県内全域に波及させるための事業などについて、「選択と集中」を念頭に編成しました。

### 緊急経済・雇用対策

経済・雇用情勢は依然、厳しいため、セーフティネットについて拡充を図ると同時に、景気回復の兆しをより確かなものにするために、社会資本の整備を進め、地域経済を下支えします。

#### (1) 公共投資の確保による地域経済の下支え

国の公共事業関係費が前年度当初比18.3%の大幅減となる中、国予算の確保に積極的に取り組んだほか、県の単独事業については、思い切って事業量を確保し、対前年度比8.9%の増としました。その結果、公共事業全体では前年度当初とほぼ同水準を確保しました。

##### ○県水道の料金引き下げ、県水道管の耐震化(2系統化)の推進

県民の家計の負担軽減へ、市町へ供給する県水道の料金を7/1から1㎡当たり20円引き下げ、99円とします。また、送水管については地震などの災害発生時にも水を安定供給するため、耐震化(2系統化)工事に着手します。

#### (2) 雇用のセーフティネットの拡充・強化

○民間からの事業提案(6/24から7/12まで募集予定)により600人の新規雇用を創出(ホームページ [www.pref.ishikawa.jp/roudou/minkan.html](http://www.pref.ishikawa.jp/roudou/minkan.html))

### 競争力のある元気な産業づくり(産業革新戦略2010)

本県産業が発展していくための「成長戦略」である「産業革新戦略2010」に基づき、県内企業の意欲ある取り組みを後押しします。

#### (1) 次世代産業の創造

##### ○いしかわ次世代産業創造ファンドの創設

県と県内の7金融機関が連携して130億円という、全国でも例を見ない大規模な地域独自の「いしかわ次世代産業創造ファンド」を創設。この運用益を活用して、企業と大学などが連携して取り組む次世代産業分野における新製品・新技術の開発を支援します。

#### (2) 基幹産業などのさらなる競争力強化

- 受注獲得へ工程の異なる複数のモノづくり企業による連携の促進
- 国内外の見本市などに出席する企業の販売力向上を支援

#### (3) 産業人材の総合的育成・確保

○県内企業が抱えるさまざまな課題の解決を図るため、知識、経験などが豊富な大手企業からの出向人材の活用を支援



### 交流が盛んな特色ある地域づくり

4年後に迫る北陸新幹線の金沢開業は、石川の「希望の象徴」です。開業効果を県内全域に波及させ、本県が大きく飛躍する起爆剤とするために、官民一体で開業準備を進めていきます。

#### (1) 北陸新幹線開業効果の最大限の発現に向けたアクションプラン(STEP21)の推進

##### ○重点プロジェクトに対する支援制度の創設

県内各地域の魅力向上へ、3つのテーマ「おもてなし」「食文化」「歴史・景観」に沿った民間団体・グループの事業を支援します。(補助率:事業費の3分の2、上限:年間300万円)

- 県民総ぐるみでおもてなしの向上に取り組むため、観光事業者向けの「観光おもてなし塾(仮称)」と、住民向けの「おもてなし講座」を開講
- 観光客が加賀、能登で宿泊するよう、夜の観光資源を活かしたモデルツアーを開発



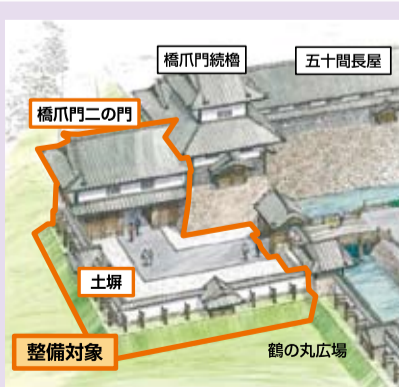
#### (2) 三大都市圏誘客1千万人構想と海外誘客10倍増構想の推進

- ロコミによる誘客促進へ「いしかわ観光特使」を県内外から公募
- 首都圏にある本県ゆかりの飲食店を「ふるさと観光情報の街中サテライト」として、伝統工芸を活用した観光パンフレットラックを設置
- 中国からの訪日個人観光ビザの発給要件緩和を契機に、上海旅行博での誘客キャンペーン実施

### 個性を活かした文化と学術の地域づくり

金沢都心部の魅力をさらに高めるとともに、本県のかげがえのない文化遺産を次代に引き継ぐための整備を進めていきます。

- 金沢城公園の整備(橋爪門二の門・土塀の発掘調査、実施設計着手、玉泉院丸跡の基本計画策定)
- 歴史博物館リニューアルに向けた基本構想の策定
- 県庁跡地の整備(敷地全体の整備に向けた調査・検討)



### みんなで支える安らぎのある社会づくり

子育て支援最先進県を目指した取り組みを拡充します。

- 「一般事業主行動計画」策定義務化を見据えた企業への個別訪問
- 「プレミアム・パスポート」の対象を第3子妊娠中の世帯に拡大、メールマガジンによる協賛企業のPR
- 育児不安を抱える家庭への保育士の訪問支援



### 安全でうるおい豊かな環境づくり

#### (1) 安全で良質な地域医療の安定的な確保

##### ○新県立中央病院建設の基本構想の策定

救急医療、高度周産期医療、がん医療など、今後とも、最新の高度医療を提供していくため、新しい病院の建設に向けた基本構想づくりに着手し、来年秋をめどに策定します。

- 金沢大学附属病院と金沢医科大学病院で寄附講座などを実施(能登北部地域を中心に医師20人が診療支援)
- 南加賀地域の救急医療体制を強化するための協議会の設置

#### (2) 地球温暖化防止の取り組み

- 「スーパー家庭版環境ISOファミリー」の認定

#### (3) 自然と人とが共生できる社会づくり

- 里山里海の利用・保全(「いしかわ版里山づくりISO制度」創設、シンポジウム開催)
- いしかわ動物園におけるライチョウの種の保存に向けた飼育繁殖技術の習得



### 自律した持続可能な地域づくり

#### 能登有料道路、川北大橋有料道路、田鶴浜道路を平成25年4月に同時無料化

##### ○中能登町以北の住民を対象に能登有料道路の料金負担をさらに軽減(8/1から)

県内の有料道路については、無料化実施時期を能登有料道路は約1年、川北大橋有料道路は約7年、田鶴浜道路は15年前倒しし、平成25年4月から3路線同時に無料化するとともに、全国にアピールし、新たな観光商品の造成促進など、新幹線開業効果を県内全域に波及させることにつなげます。また、能登有料道路については無料化までの間、中能登町以北の住民を対象に、割引制度を拡大し、割引通行券を事前に購入していただくことで、全線500円以内で利用できるようになります。



### 未来を拓く心豊かな人づくり

- 私立高等学校の低所得の世帯の生徒に対する入学金・授業料の軽減
- 日本スポーツマスターズ2011石川大会の開催準備

### 魅力ある産業としての農林水産業づくり

- 北陸新幹線金沢開業を見据え、能登山菜、原木生しいたけ「のと115」、七尾湾トリガイなど、特色ある農林水産物の生産から販売まで、一貫した支援によるブランド化の推進
- 全国ブランド化を目指し、能登牛1,000頭生産体制の整備
- コメの戸別所得補償制度を踏まえた調整水田解消への支援
- 北陸新幹線沿線県への県産水産物の販路開拓

